

# 加工・業務用国産野菜 生産利用拡大に向けて



倉敷青果株式会社

# 会社概要・沿革

## □ 会社概要

- ✓ 社名：倉敷青果株式会社
- ✓ 住所：倉敷市西中新田525-21
- ✓ 創業：1946年1月 ※2022年1月に倉敷青果株式会社へ事業譲渡
- ✓ 資本金：3000万円
- ✓ 事業内容：青果物の卸売 洗浄殺菌カット野菜の製造・販売
- ✓ 売上高：161億円（2024年度、内カット野菜部売上高 51.7億円）
- ✓ 従業員：約335名（内カット野菜部約270名）

## □ 沿革

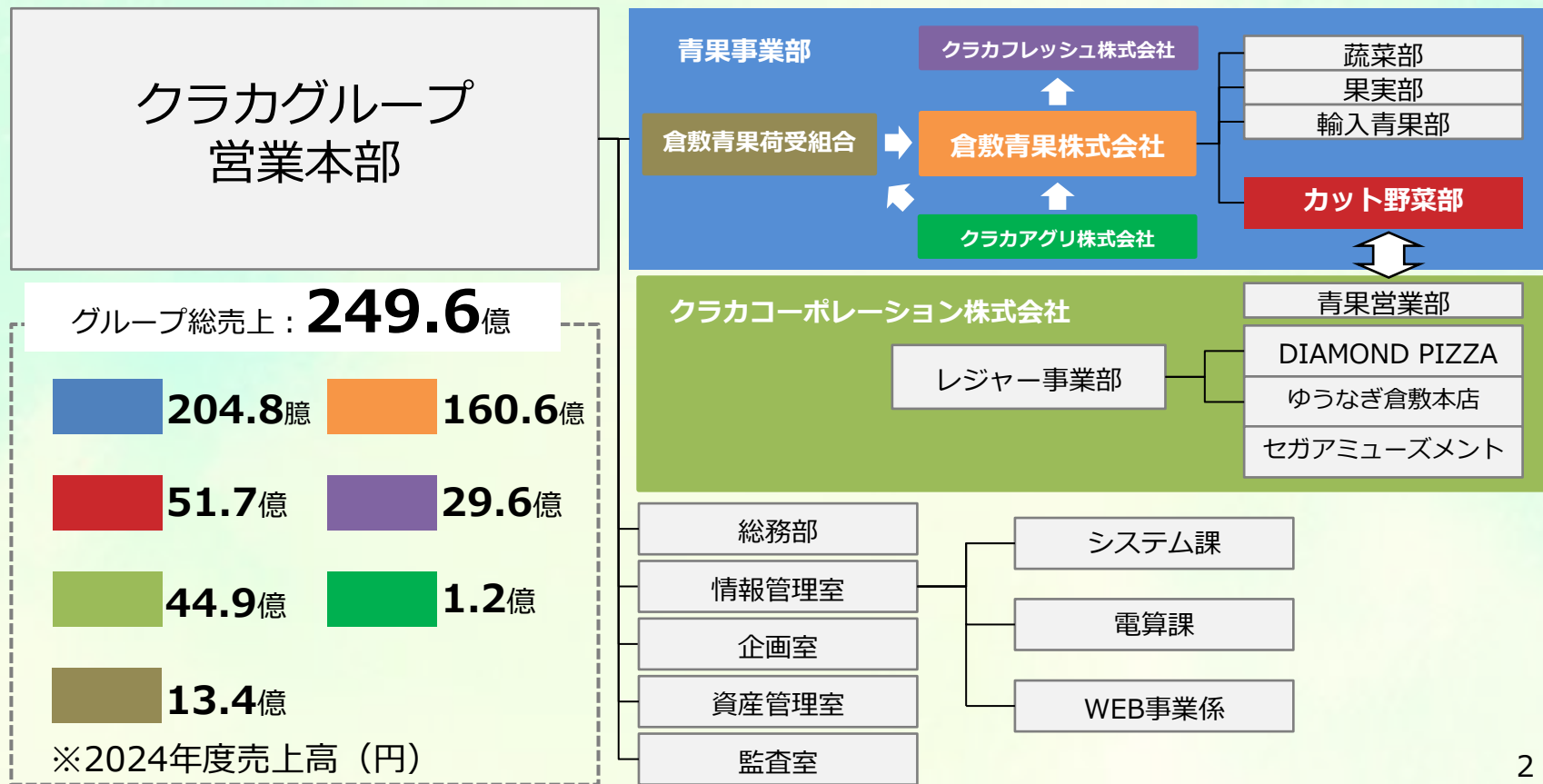
- ✓ 1998年にカット野菜部を立ち上げ、2016年集出荷貯蔵施設（冷蔵庫）、2017年カット野菜工場新設と大型投資を行い、西日本地区では最大規模のカット野菜メーカーへと躍進

## □ 新たなビジネスモデルの構築

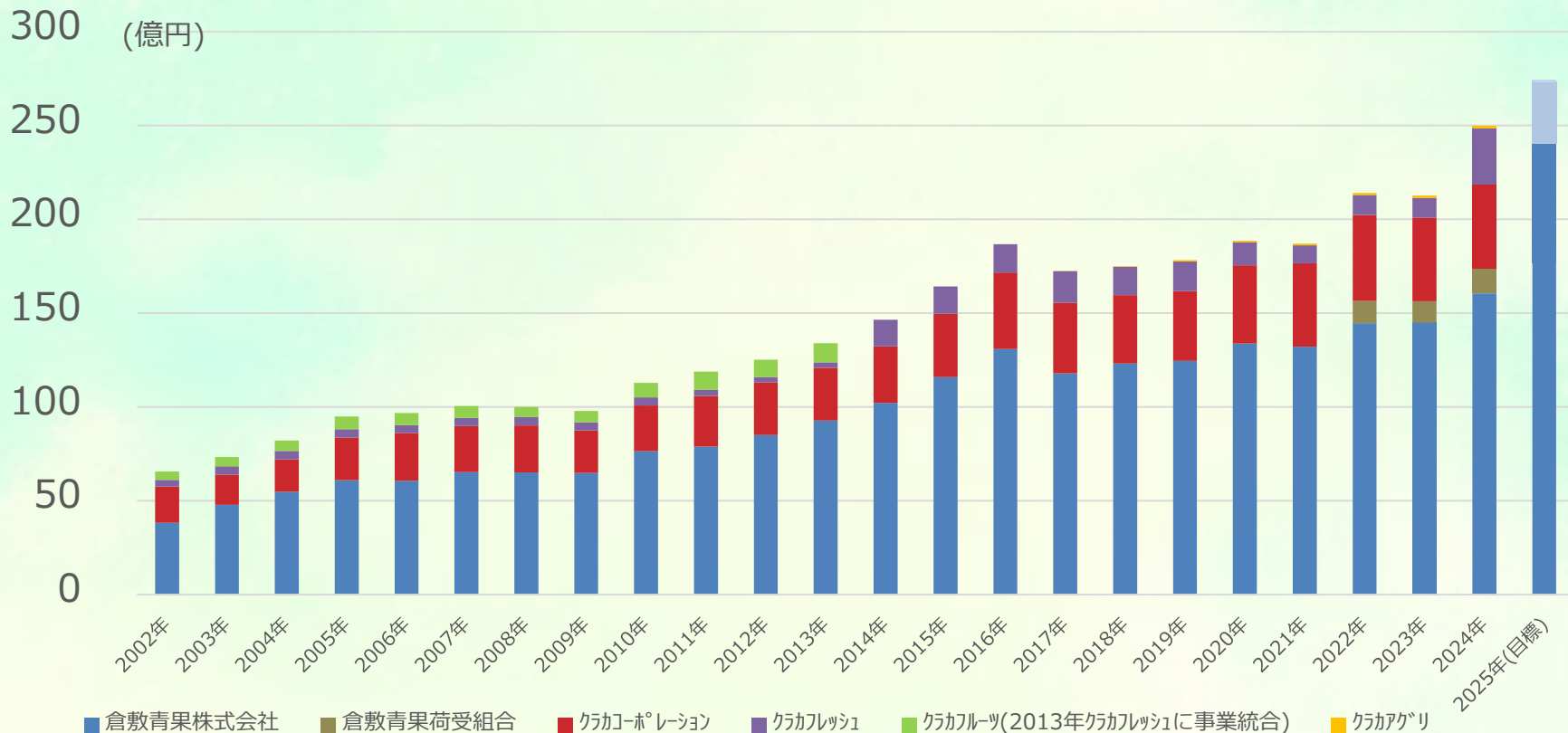
- ✓ 従来の卸売業界の仲介機能から発生する自由化される卸売手数料に依存せず自ら付加価値商品を製造、末端の加工・業務用ユーザースーパー、コンビニ等（全国259社4783店舗）へ直接販売して新規の販路を拡大



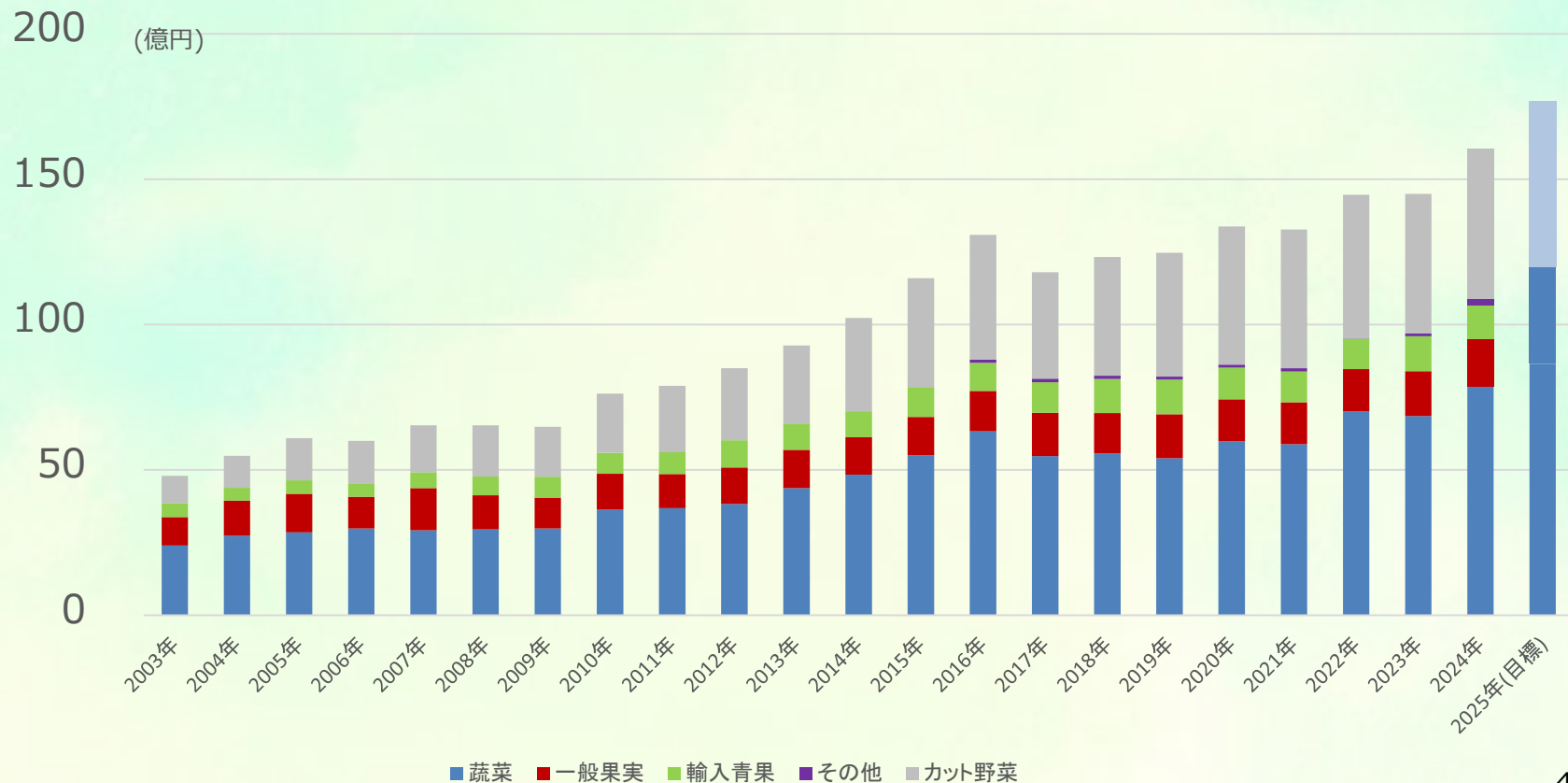
# クラカグループ組織図



# クラカグループ・売上推移



# 倉敷青果株式会社・売上推移



# 野菜需要の変化

## □ 生活スタイルの変化

✓ 単身世帯の増加



✓ 外食・中食の増加



食の外部化が  
進行！

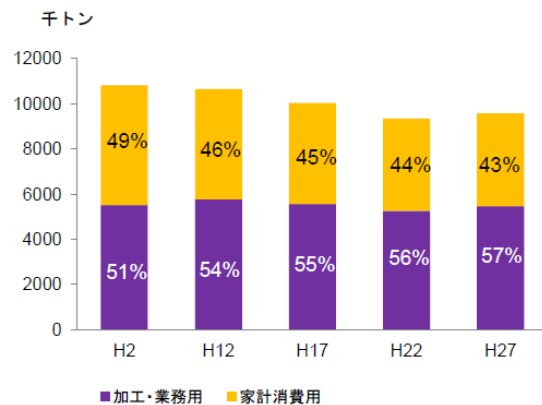
✓ 女性の社会進出



✓ 高齢化



○ 加工・業務用野菜及び家計消費用野菜の国内仕向け量の推移



資料：農林水産政策研究所

加工・業務用  
野菜需用増加！

# 野菜需要の変化にいち早く対応

## 加工・業務用需要にも対応出来る体制作り

✓ 加工・業務用野菜生産地



生産者支援  
モデル農場

クラカアグリ株式会社

2023年度計画 作付面積

- ・青ネギ 12ha
- ・キャベツ 12ha
- ・スイートコーン 3ha
- ・玉ねぎ 1.5ha
- ・サツマイモ 0.2ha

✓ 倉敷青果株式会社（中間事業者）

1998年 カット野菜部立ち上げ



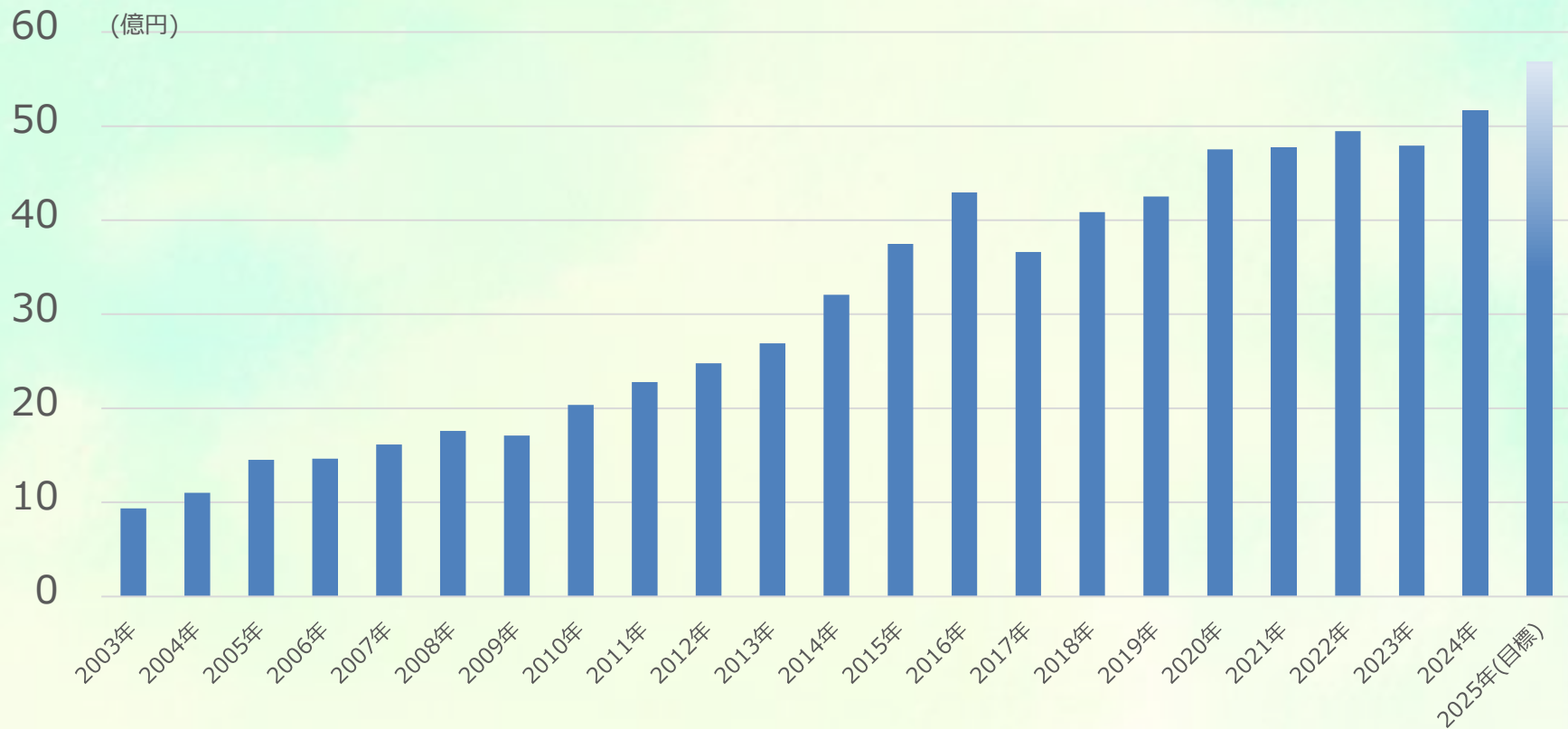
- ✓ 定時・定量・定価格・定品質を実現
- ✓ 国産野菜使用の要望増に応える体制
- ✓ 食の安全・安心を実現

✓ 実需者



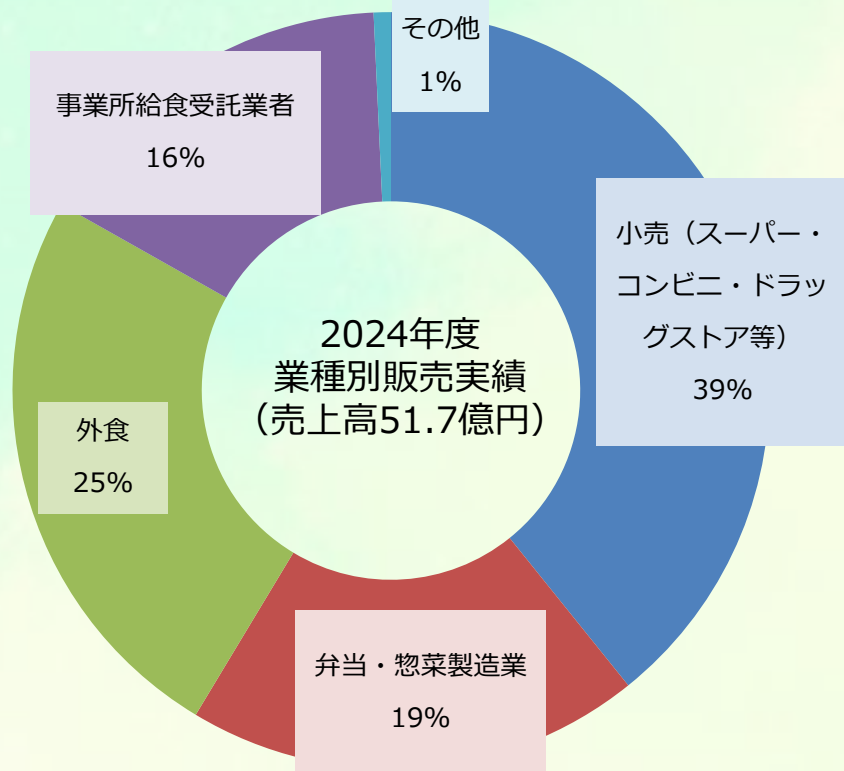
安定供給

# カット野菜部・売上推移



# カット野菜部 業種別販売実績

## □ 得意先(約260社)の内訳



売上全体の20.0%がコンシューマー  
パックサラダ



# 安全・安心への取り組み

## □ ISO22000 食品安全マネジメントシステム認証取得



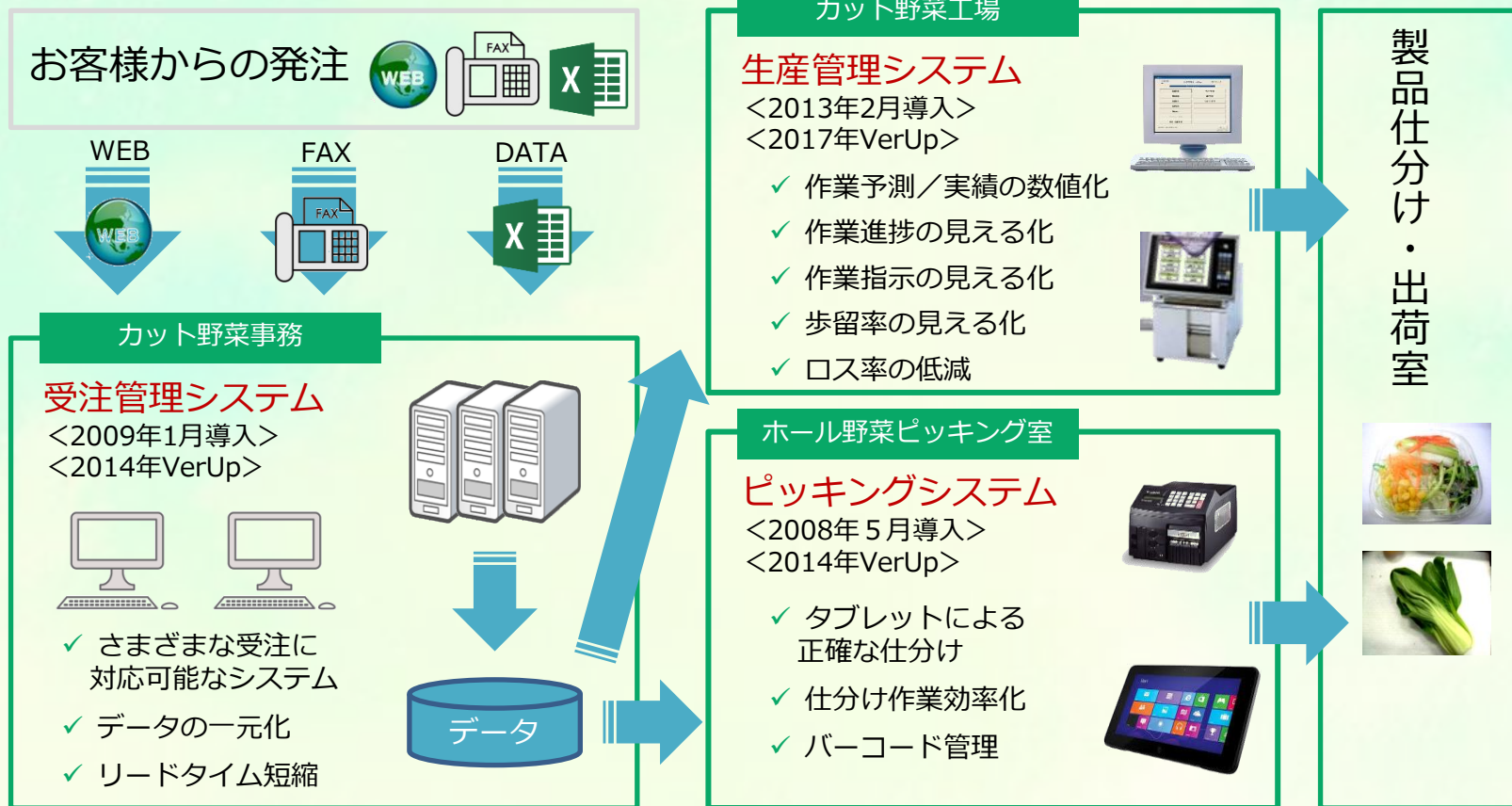
### 取組みによって得られた効果

- ✓ 工場作業者の食品安全に対する意識向上  
→衛生、品質、人材全てにプラスとなる
- ✓ マネジメントシステムを運用することにより、  
お客様に、より安全・安心な商品が提供出来る  
→日常チェックの徹底で危害のある商品の出荷を  
未然に防止出来る
- ✓ 検証、改善を繰り返し、常に安全・安心な商品  
作りに繋がる

2009年4月認証取得

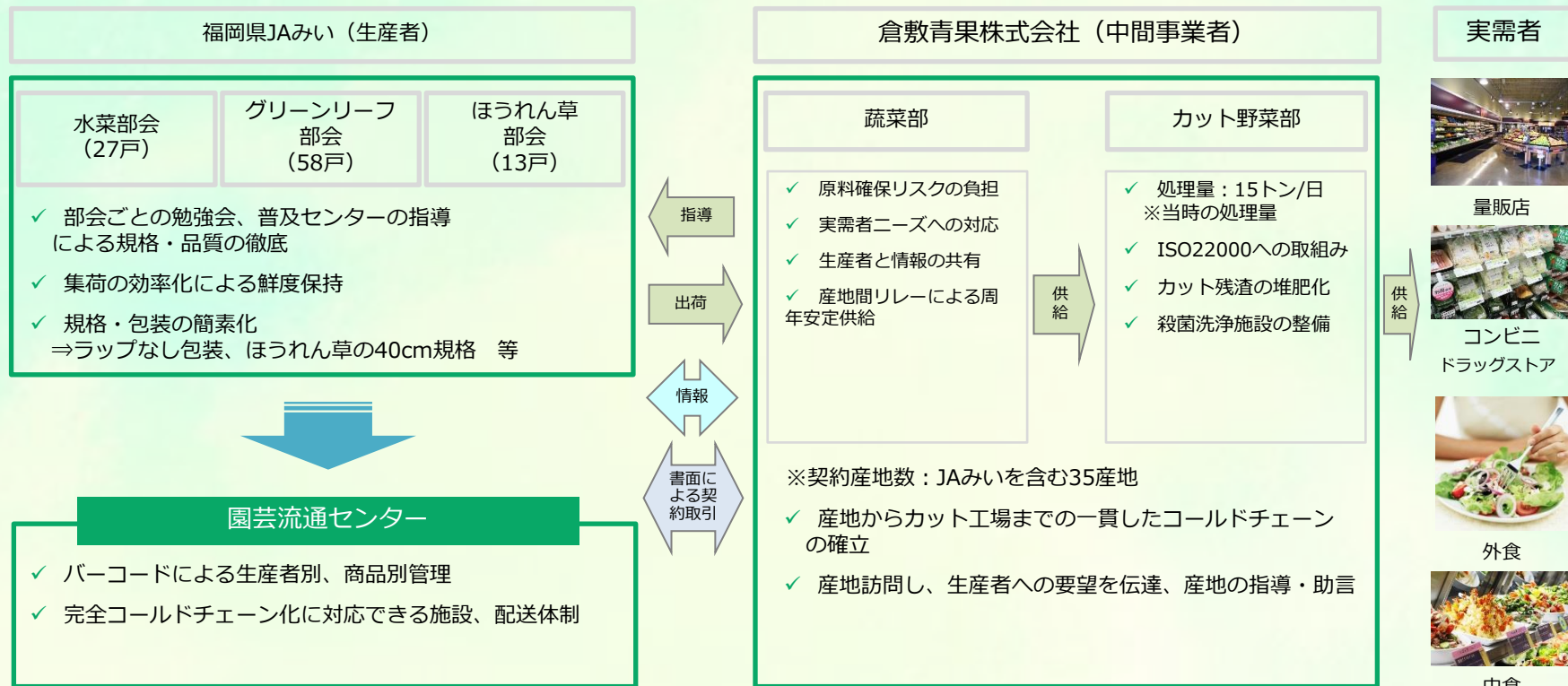
※青果卸売市場業界での取得は日本初

# IT活用により業務の効率化、リードタイムを短縮



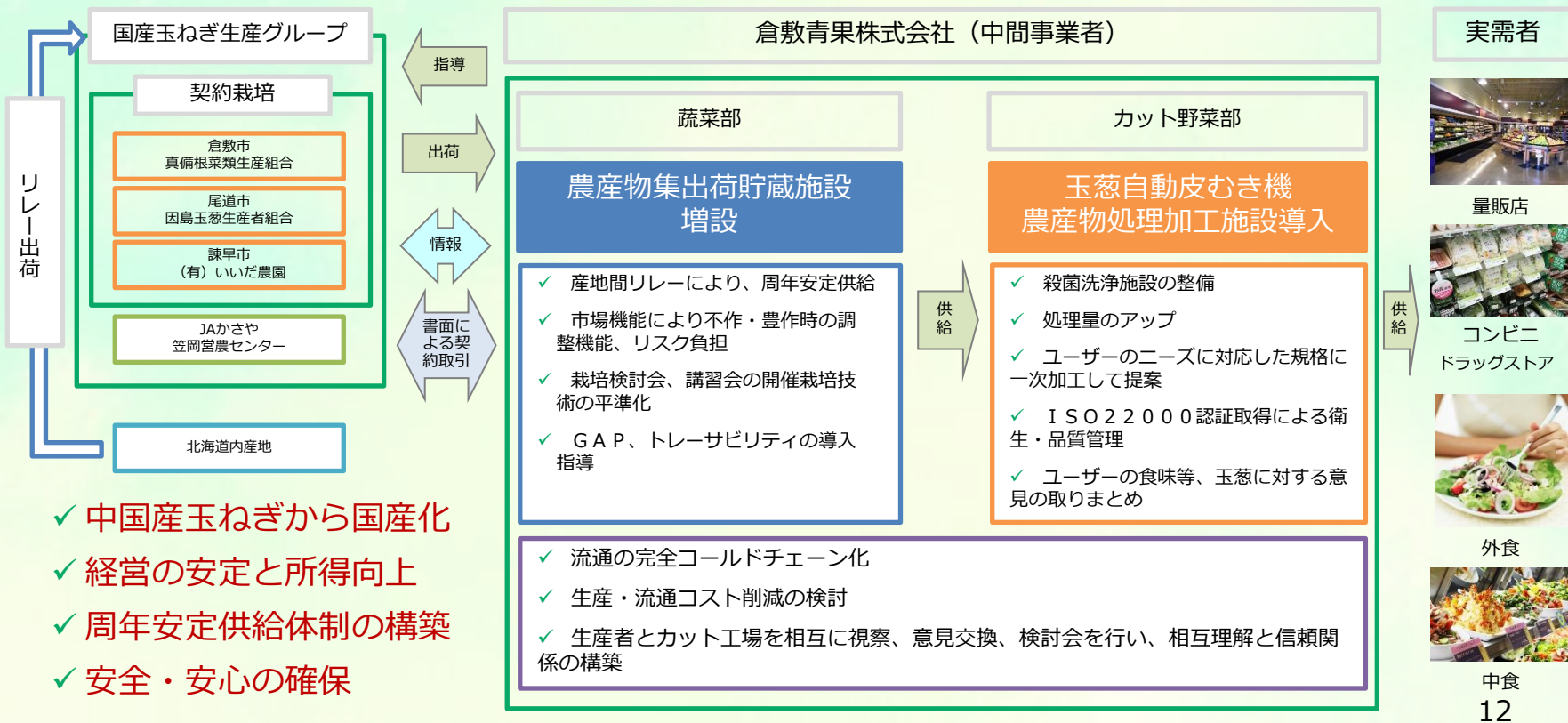
# 加工・業務用野菜需要に対応した取組み①

□ 第2回 国産野菜生産・利用拡大優良事業所表彰 **農林水産大臣賞受賞 (2009年3月)**



# 加工・業務用野菜需要に対応した取組み②

第4回 国産野菜生産・利用拡大優良事業所表彰 農林水産大臣賞 受賞(2011年3月)



- ✓ 中国産玉ねぎから国産化
- ✓ 経営の安定と所得向上
- ✓ 周年安定供給体制の構築
- ✓ 安全・安心の確保

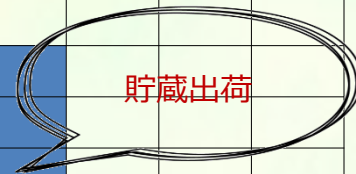
# 国産玉ねぎ生産・利用拡大グループの取組み

## □ 農林水産省 国産原材料サプライチェーン構築事業の活用

事業年度	導入	事業内容
2009年度	2010年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物処理加工施設の整備</li> <li>・玉ねぎ自動皮むき機の整備</li> </ul>
2010年度	2011年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物集出荷貯蔵施設の整備</li> </ul>
2011年度	2012年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集出荷用、一次加工用コンテナ洗浄機ラインの整備</li> <li>・洗浄室施設の整備</li> </ul>

## □ 集出荷貯蔵施設を活用したリレー・貯蔵出荷による国産ねぎの周年安定供給

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道産	■	■	■	■					■	■	■	■
JA倉敷かさや（岡山県）					■	■	■	■				
真備根菜類生産組合（岡山県）					■	■	■	■	■			
因島玉葱生産組合（広島県）					■	■	■	■	■			
有限会社いいだ農園（長崎県）						■	■	■	■			



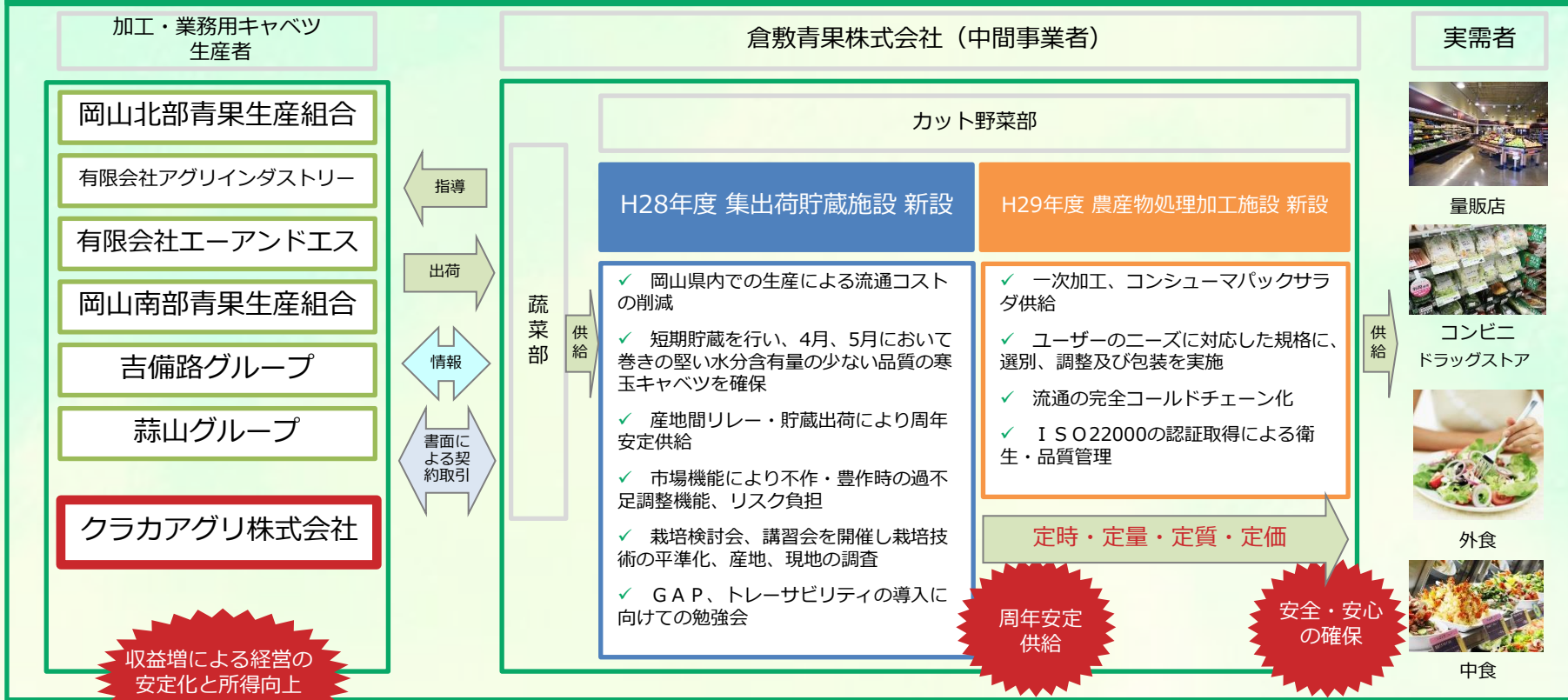
玉ねぎのリレー出荷



倉敷青果で冷蔵貯蔵した玉ねぎを使用

# 加工・業務用野菜需要に対応した取組み③

岡山県産野菜生産・利用拡大協議会設立（2015年10月）



# 岡山県産加工業務用キャベツの生産・利用拡大の取組み

- 農林水産省 強い農業づくり交付金事業（国産原材料サプライチェーン構築事業）の活用

事業年度	導入	事業内容
2016年度	2017年2月導入	・集出荷貯蔵施設、選別調製室の建設 延床面積1720.38㎡
2017年度	2018年2月導入	・農産物処理加工施設の建設 延床面積1325.16㎡

- 集出荷貯蔵施設を活用したリレー・貯蔵出荷による寒玉系キャベツの周年安定供給

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
岡山県産野菜生産 利用拡大協議会 生産者	■	■	■	■	■	■				■	■	■
長野県産							■	■	■	■		
群馬県産							■	■	■	■		
北海道産							■	■	■	■		



■ キャベツのリレー集荷

■ 倉敷青果で冷蔵貯蔵した寒玉系キャベツを使用

# 加工・業務用野菜供給における課題と対応

## □ 実需者ニーズ

1. 安全・安心 ⇒ 栽培履歴、残留農薬検査、GAP、トレーサビリティ
2. 4定（定時・定量・定品質・定価格）
3. 輸入品との価格差の縮小
4. 国産野菜での周年安定供給 ⇒ リレー・貯蔵出荷

## □ 課題と対応

1. 野菜の多収量確保・安定供給・生産コストの低減に向けた生産技術の開発
2. 生産者側の意識改革 ⇒ 需要の変化に対応した生産体制の整備
3. 機械化による栽培の省力化と生産性向上 ⇒ 栽培の規模拡大・スマート農業推進
4. 流通コストの低減 ⇒ 通い容器、大型コンテナの導入、実需者に近い地区での生産
5. 選別・調製作業時間の短縮、商品化率の向上 ⇒ 出荷規格の簡素化
6. 端境期の生産安定、実需者ニーズに応じた商品開発 ⇒ 好適品種の開発・選択  
例、寒玉系キャベツの4～5月どり栽培（抽苔や不結球）のクレーム ⇒ 集出荷貯蔵施設で短期貯蔵し品質・数量の確保  
大玉レタスの冬どり栽培（生育の遅れ、結球不良、品質低下）⇒ 好適品種の選択・トンネルビニールの被覆
7. 需給変動に伴うリスクの理解と軽減（農家経営の安定化） ⇒ 契約取引の拡大・収入保険制度の活用
8. 日本施設園芸協会の栽培実証試験データの活用
9. 産地と食品製造業者等をつなぎ両者のリスクを軽減するコーディネーター役である中間事業者の育成・強化



# 取組みに対する評価

## □さまざまな賞を受賞

- ✓ 2009年 「**第二回国産野菜の生産・利用拡大優良事業者**」として農林水産大臣賞受賞
- ✓ 2010年 「**おかやま I T 経営力大賞**」の最高賞を受賞
- ✓ 2011年 「**第4回国産野菜生産・利用拡大優良事業所表彰**」で農林水産大臣賞を受賞
- ✓ 2011年 「**第19回中国地域ニュービジネス大賞**」で優秀賞を受賞
- ✓ 2013年 「**おかやま I T 経営力大賞**」の優秀賞を受賞
- ✓ 2017年 「**攻めの I T 経営中小企業百選**」に選定



# ご清聴ありがとうございました

詳しい企業情報をご覧になりたい方は

クラカ

検索



## 展示内容（ブース番号⑬）

- ・ポスター
- ・パンフレット



・自社の冷蔵倉庫

## ◆ 自社の特長・強み・実績

- 当組合は倉敷市の公立小学校62校24,912人、中学校28校12,507人の学校給食にて調理使用する青果原材料の供給を倉敷・水島・玉島・児島の合計19業者が、安定的且つ地域原材料を基本とする供給体制を確立するために発足し活動している組合です。総会は年2回、問題点の共有協議、次年度以降に使用する地域原材料についての供給可否等を話し合います。その中で、倉敷市学校給食会栄養士の方々が決定するメニューに使用する原材料の安定調達・安定供給を中間事業者である組合企業が生産者と共に供給する重要な役割を担っています。産直生産者との供給契約を持っていること、もし天候災害等で供給がままならなかったとしても、他国産産地での代替供給を行うことでリスクヘッジしていることが強みです。

## ◆ 交流会参加の目的

- 倉敷市学校給食会の取組を県内他生産者・生産組合の方々に理解していただき是非安定的に出荷できる産物の御提案をいただけるようアピールするために参加させていただきました。岡山県内を中心とした新たな産品の供給を行いたく、アピールさせていただきに参りました。
- **県内産品を将来的に「県内冷凍野菜」を取り入れることで年間安定的に供給できる体制を作ること**を視野にいれています。特に夏場は高温干ばつによる葉物中心とした商品が品薄になりやすく、高騰暴騰、最悪は供給不可になる可能性があります。冷凍加工を行っていくことで、地産の生産物を地元で消費する食育につなげていきたいと考えています。